

承認容器使用期間更新申請書

NDC社発20-140号

令和2年 4月27日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村舟石川622番地12  
氏 名 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
取締役社長 山内 純一

核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則第23条第2項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1. 輸送容器の名称

MSF-I型

2. 承認容器登録番号

	承認容器 登録番号	製 造 番 号			備 考
		容器本体	収納缶	燃料 バスケット	
1	S1B120	C-101	C-102		
2	S2B120	C-101		C-103	

3. 容器承認書に記載された期間

平成27年8月17日 から 平成32年6月7日

4. 更新後に承認容器として使用することを予定している期間

令和 2年6月8日 から 令和 7年6月7日

5. 更新の理由

容器承認書(原規発第1508171号)で承認されている容器の使用期間が平成32年6月7日までとなっているが、照射後試験に伴う原子力発電所からの輸送等今後も引き続き使用することを予定しているため。

6. その他

[添付書類] 当該輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書

□で囲った箇所は核セキュリティ情報及び商業機密が含まれているため、非公開とします。

## 添付書類

当該輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書

### 1. 定期自主検査

本申請に係る輸送容器の性能を維持するために、年1回以上、または年間の使用回数が10回を超えるものにあつては、使用回数10回ごとに1回以上の定期自主検査を別紙1の定期自主検査要領に従って実施し、その性能が健全に維持されていることを確認する。

平成28年からの定期自主検査の実施状況を下表に詳細を添付1～4に示す。

年	実施期間	備考
平成28年(2016年)	平成28年 6月17日から30日	添付1
平成29年(2017年)	平成29年 6月21日から29日	添付2
平成30年(2018年)	平成30年 6月18日から28日	添付3
令和元年(2019年)	令和元年 6月18日から27日	添付4

注記：平成27年の定期自主検査は、平成27年6月30日から7月9日に実施している。

### 2. 保管中等の維持管理

本輸送容器は上記1項の定期自主検査を行うとともに、以下のように管理し性能を維持している。

- (1) 定期自主検査後、輸送に使用した輸送容器については、外観上のチェックを主とした空容器の発送前検査を実施している。
- (2) 輸送容器の保管にあつては、架台を使用し輸送容器が直接地面と接触しないよう配慮するとともに、雨水がかからないように建屋内に保管している。
- (3) 輸送容器を移動等により取扱う場合には、その性能が損なわれないように慎重に行っている。

### 3. 輸送実績(平成27年から5年間)

輸送実績なし

## 定期自主検査要領

	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び燃料収納容器の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料収納容器の部品の表面状況（傷、割れ等の状況）及び形態に異常がないこと。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び燃料収納容器を目視で検査する。	耐圧性能に影響を与える変形、破損等の異常がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により漏えい率を測定する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> を超えないこと。
		収納缶は加圧漏えい法により検査する。	発泡のないこと。
4	しゃへい検査	輸送容器本体及び燃料収納容器を目視で検査する。	しゃへい性能に影響を与える変形、破損等の異常がないこと。
5	未臨界検査	燃料収納容器を目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える変形、破損等の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与える変形、破損等の異常がないこと。
7	吊上げ検査	輸送容器本体及び収納缶を吊上げた状態において吊上げ部外観を検査する。	輸送容器本体及び収納缶の吊上げ部に異常がないこと。
8	Oリング取替点検	取替用Oリングの取付前・取付後を目視検査する。	密封性に影響を与える傷、割れ等の異常がないこと。

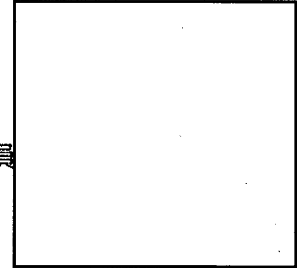


# 容器承認書

原規規発第1508171号  
平成27年8月17日

ニュークリア・デベロップメント株式会社  
取締役社長 白鳥 義夫 殿

原子力規制委員



核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）第59条第3項及び核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則（昭和53年総理府令第57号）第21条第1項の規定に基づき、平成27年7月17日付けNDC管第247号をもって申請のあった輸送容器については、同規則に定める技術上の基準に適合していると認められるので、同法第59条第3項の規定に基づき、下記のとおり承認します。

## 記

- 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名  
名称：ニュークリア・デベロップメント株式会社  
住所：茨城県那珂郡東海村舟石川622番地12  
代表者：取締役社長 白鳥 義夫
- 輸送容器の名称：MSF-I型

3. 輸送容器の外形寸法及び重量

(1) 輸送容器の外形寸法

外 径 :

長 さ :

(2) 輸送容器重量 :

(3) 核燃料輸送物の総重量 :

(4) 核燃料輸送物の外観 : 添付図のとおり

詳細形状は、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計変更承認申請書別紙の(イ) - 第 C. 1 図から (イ) - 第 D. 15 図までに示されている。

(5) 輸送容器の主要材料

内筒、中間胴、外筒、上部端、中間胴底板、内筒底板、蓋 :

遮蔽体 :

放熱フィン :

トラニオン :

収納缶 :

燃料バスケット :

緩衝体 :

4. 核燃料輸送物の種類

(1) 核燃料輸送物の種類 : BM型核分裂性輸送物

(2) 輸送制限個数 : 制限なし

(3) 配列方法 : 任意

(4) 臨界安全指数 : 0

5. 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量  
添付表のとおり

6. 承認容器登録番号【設計承認番号：J/120/B(M)F-96(Rev.3)】

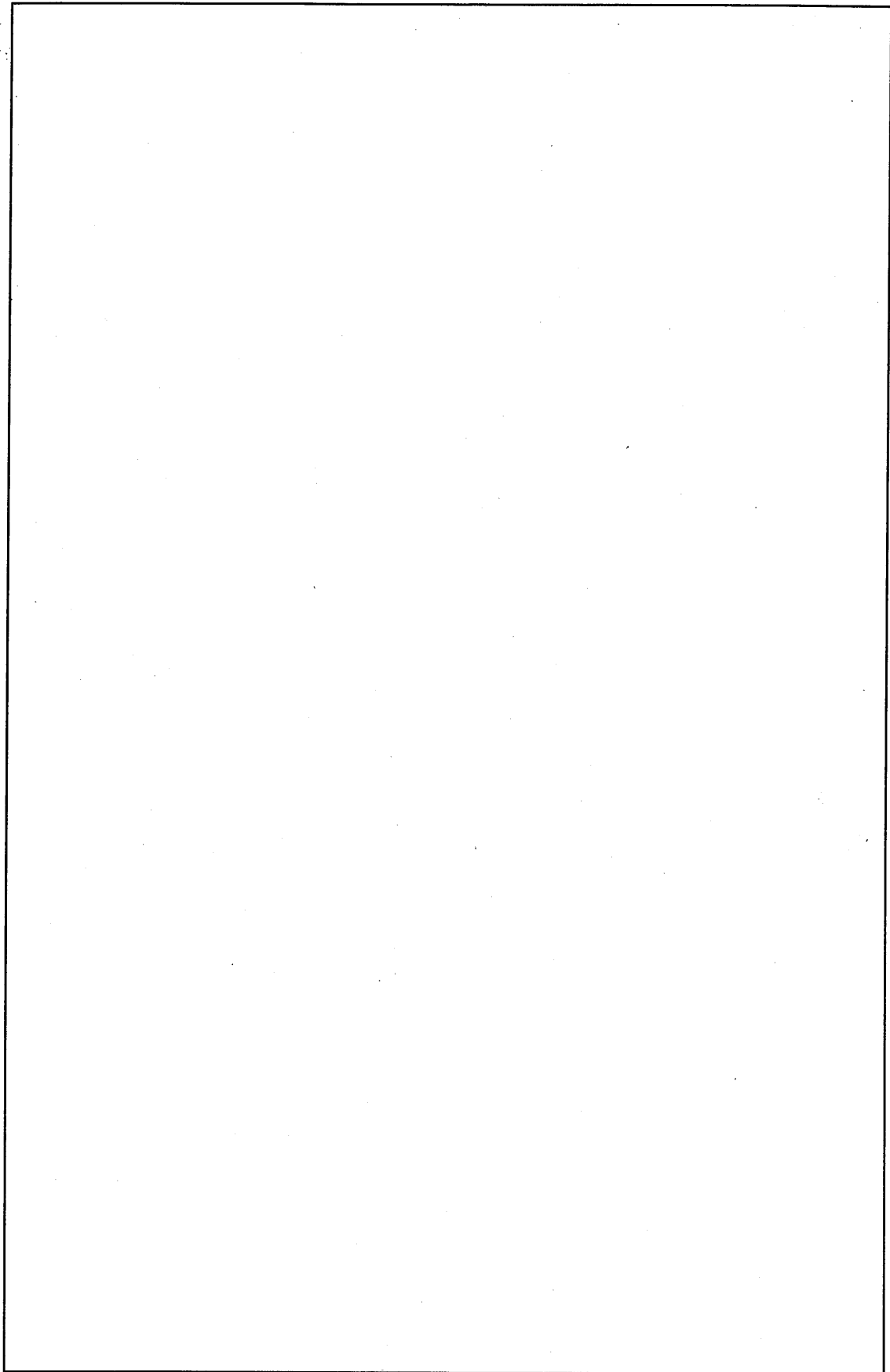
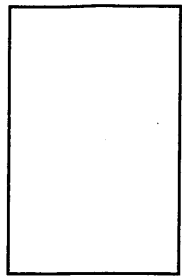
	承認容器 登録番号	製 造 番 号			備 考
		容器本体	収納缶	燃料 バスケット	
1	S1B120	C-101	C-102		<input type="text"/>
2	S2B120	C-101		C-103	<input type="text"/>

7. 承認容器として使用する期間

平成27年8月17日から平成32年6月7日まで

8. 輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項

本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認書（平成27年6月8日付け原規規発第1506081号）の9. に示す輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項を遵守して実施すること。



添付図 MSF-I型核燃料輸送物外観図

添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量 (1/5)

収納物のタイプ		タイプ-I	タイプ-II	タイプ-III	タイプ-IV	タイプ-V	タイプ-VI
項目	燃料のタイプ						
	種類						
	性状						
重量	ウラン重量 (kg 以下)						
放射能の量	総量 (TBq 以下/容器)						
	主要な核種の量 (TBq 以下/容器)						
	初期濃縮度 (wt% 以下)						
	燃焼度 (MWD/MTU 以下)						
	発熱量 (kW 以下/容器)						
	冷却日数 (日以上)						
その他	平均比出力 (MW/MTU)						
	リーク燃料棒の数						





添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量 (2/5)

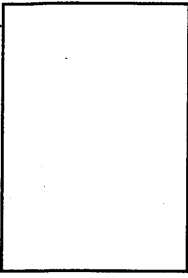
収納物のタイプ		タイプ-I'	タイプ-II'	タイプ-III'	タイプ-IV'	タイプ-V'	タイプ-VI'
項目	燃料のタイプ						
	種類						
性状							
重量	ウラン重量 (kg 以下)						
	放射能 の量	総量 (TBq 以下/ 容器)		主要な核種 (TBq 以下/ 容器)			
初期濃縮度 (wt% 以下)							
燃焼度 (MWD/MTU 以下)							
発熱量 (kW 以下/容器)							
冷却日数 (日以上)							
その他	平均出力 (MW/MTU)						
	リーク燃料棒の数						

添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量 (3/5)

収納物のタイプ		タイプ-VII	タイプ-VIII	タイプ-IX	タイプ-X	タイプ-XI	タイプ-XII	タイプ-XIII
項目	燃料のタイプ							
	種類							
	性状							
重量	ウラン重量 (kg 以下)							
	総量 (TBq 以下/容器)							
放射能の量	主要な核種 (TBq 以下/容器)							
初期濃縮度 (wt%以下)	二酸化ウラン							
	ガドリニア入り二酸化ウラン							
燃焼度 (MWD/MTU 以下)								
発熱量 (kW 以下/容器)								
冷却日数 (日以上)								
その他	平均比出力 (MW/MTU)							
	リーク燃料棒の数							

添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量 (4/5)

収納物のタイプ		タイプ-XIV	タイプ-XV	タイプ-XVI	タイプ-XVII	タイプ-XVIII	タイプ-XIX
項目	燃料のタイプ						
	種類						
	性状						
重量	ウラン重量 (kg 以下)						
	総量 (TBq 以下/容器)						
放射能の量	主要な核種 (TBq 以下/容器)						
	初期濃縮度 (wt% 以下)						
	二酸化ウラン						
	ガドリニア入り二酸化ウラン						
	燃焼度 (MWD/MTU 以下)						
	発熱量 (kW 以下/容器)						
	冷却日数 (日以上)						
その他	平均出力 (MW/MTU)						
	リーク燃料棒の数						
	最大引抜燃料棒数 (本)						



添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量 (5/5)

収納物のタイプ		タイプ-XX	タイプ-XX I	タイプ-XX II
項目	燃料のタイプ			
種類				
性状				
重量	ウラン重量 (kg 以下)			
放射能の量	総量 (TBq 以下/容器)			
	主要な核種の量 (TBq 以下/容器)			
初期濃縮度 (wt% 以下)	二酸化ウラン			
	ガドリニア入り二酸化ウラン			
燃焼度 (MWD/MTU 以下)				
発熱量 (kW 以下/容器)				
冷却日数 (日以上)				
その他	平均出力 (MW/MTU)			
	リーク燃料棒の数			
	最大引拔燃焼率(本)			

添付 1

作成 2016 年 7 月 13 日

2016 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号:S2B120(燃料バスケット))

【検査項目】

- ・ 外観検査
- ・ 耐圧検査
- ・ 気密漏えい検査
- ・ 遮蔽検査
- ・ 未臨界検査
- ・ 熱検査
- ・ 吊上検査
- ・ Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基(承認容器登録番号:S2B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2016年6月17日～6月30日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室

氏名  確認日: 2016年7月13日

検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室

氏名  確認日: 2016年7月14日

判定

合格

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長

氏名  確認日: 2016年7月14日

部工事品質保証委員 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部

氏名  確認日: 2016年7月14日

社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室

氏名  確認日: 2016年7月19日

検査要領及び  
検査結果 記録様式 2 (3/12) 及び記録様式 2 (4/12) ～ (12/12) のとおり

## 定期検査要領

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び燃料バスケットの外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> を越えないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	燃料バスケットを目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	リング取替点検	取替用リングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用リングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2016年 6月29日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月28日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
トラニオン	同 上	2016年 6月28日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2016年 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行



## 2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月23日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2016年 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

3. 気密漏えい検査記録 (1/2)

承認容器登録番号: S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋Oリング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えないうこと。	2016 年 6 月 29 日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/2)

承認容器登録番号		S 2 B 1 2 0	
検査年月日	2016年6月29日	確認者	作業担当者
			作業責任者
			検査担当者

使用計量器	機器種類	検査部位		製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考
		部	計			
使用計量器	真空センサー及び表示計	バント部 (P1)	センサー	28480	2016年6月14日	詳細は記録様式1参照
			表示計	113809	2016年6月14日	
		ドレン部 (P2)	センサー	25622	2016年6月15日	
			表示計	113819	2016年6月15日	
		蓋部 (P3)	センサー	23264	2016年6月15日	
			表示計	113829	2016年6月15日	
	温度センサー及び表示計	バント部 (T1)	センサー	116696	2016年5月30日	
			表示計	N01	2016年5月30日	
		ドレン部 (T2)	センサー	116697	2016年5月30日	
			表示計	N02	2016年5月30日	
蓋部 (T3)	センサー	116698	2016年5月30日			
	表示計	N03	2016年5月30日			
ストップウォッチ			C1579C	2016年5月13日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
	ドレン弁部の密封部 <input type="text"/>	(開始時) P1 = <input type="text"/> (終了時) P2 = <input type="text"/> 測定時間 5分	T1 = 23 °C T2 = 23 °C	L1 = <input type="text"/> MPa・cm³/s
	バント弁部の密封部 <input type="text"/>	(開始時) P1 = <input type="text"/> (終了時) P2 = <input type="text"/> 測定時間 5分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L2 = <input type="text"/> MPa・cm³/s
	蓋 "0" リング部の密封部 <input type="text"/>	(開始時) P1 = <input type="text"/> (終了時) P2 = <input type="text"/> 測定時間 5分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L3 = <input type="text"/> MPa・cm³/s
	総漏えい量: Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準: <input type="text"/> MPa・cm³/s ]			Lc = <input type="text"/> MPa・cm³/s

計算式	計算式
	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$ <p>                     L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (° K)                      V : 検査部容積 (cc)            T2 : 試験終了時の温度 (° K)                      H : 測定時間 (h)                P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)                      Ts : 基準温度 (293 ° K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)                 </p>

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月23日*2 6月29日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2016年 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
燃料バスケット	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2016年 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者署名代行

## 6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2016年 6月30日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016 年 6月17日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
【本体蓋】 Oリング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> : 2個	取替用Oリングの 取り付け前・取り付け 後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。	2016年 6月23日 <sup>*2</sup> 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ベント弁】 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (リークテスト用) : 1個	同 上	2016年 6月24日 <sup>*3</sup> 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ドレン弁】 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (リークテスト用) : 1個	同 上	2016年 6月24日 <sup>*3</sup> 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者 第1代行

\*3 " 第2代行



作成 2016年 7月13日

2016 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号：S1B120 (収納缶))

【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基(承認容器登録番号:S1B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2016年6月17日~6月30日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室

氏名  確認日:2016年7月13日

検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室

氏名  確認日:2016年7月14日

判定

合格

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長

氏名  確認日:2016年7月17日

部工事品質保証委員 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部

氏名  確認日:2016年7月14日

社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室

氏名  確認日:2016年7月19日

検査要領及び  
検査結果 記録様式3(3/13)及び記録様式3(4/13)~(13/13)のとおり

## 定期検査要領

承認容器登録番号：S I B 1 2 0 (収納缶)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び収納缶の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶又は燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
		収納缶は加圧漏えい法により検査する。	発泡のないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	収納缶を目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング 取替検査	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2016年 6月29日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月28日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
トラニオン	同 上	2016年 6月28日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2016年 6月22日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2016年 6月23日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2016年 6月22日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

## 3. 気密漏えい検査記録 (1/3)

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋リング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えないこと。	2016 年 6月29日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/3)

承認容器登録番号		S1B120		
検査年月日	2016年6月29日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

使用計量器	機器種類	検査部位		製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考
		部	計			
真空センサー及び表示計	ベント部 (P1)	センサー	28480	2016年6月14日	詳細は記録様式1参照	
		表示計	113809	2016年6月14日		
	ドレン部 (P2)	センサー	25622	2016年6月15日		
		表示計	113819	2016年6月15日		
	蓋部 (P3)	センサー	23264	2016年6月15日		
		表示計	113829	2016年6月15日		
温度センサー及び表示計	ベント部 (T1)	センサー	116696	2016年5月30日		
		表示計	N01	2016年5月30日		
	ドレン部 (T2)	センサー	116697	2016年5月30日		
		表示計	N02	2016年5月30日		
	蓋部 (T3)	センサー	116698	2016年5月30日		
		表示計	N03	2016年5月30日		
ストップウォッチ			C1579C	2016年5月13日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
		ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 23 °C T2 = 23 °C
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L2 = [ ] MPa·cm³/s
	蓋 "O" リング部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L3 = [ ] MPa·cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa·cm³/s ]			Lc = [ ] MPa·cm³/s

計算式	計算式	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$
	<p>L : 漏洩率 (MPa·cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (°K)</p> <p>V : 検査部容積 (cc)            T2 : 試験終了時の温度 (°K)</p> <p>H : 測定時間 (h)                P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)</p> <p>Ts : 基準温度 (293 °K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)</p>	

3. 気密漏えい検査記録 (3/3)

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
収納缶	<input type="checkbox"/> MPa・G 以上に 加圧し、収納缶よ り発泡のないこ と。	2016年 6月23日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者署名代行

使用計量器	機器種類	製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考 詳細は記録 様式1参照
	圧力センサー	6676751	2016年6月1日	
	表示計	2KY3496	2016年6月1日	
	ストップウォッチ	C1579C	2016年5月13日	
検査条件	試験圧力	<input type="checkbox"/> Pa・G以上) 実績: <input type="checkbox"/> MPa・G		
	保持時間	(30分) 実績: 30分		



4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者		
				作業担当者	作業責任者	検査担当者
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月23日 <sup>*2</sup> , 6月29日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		
収納缶	同 上	2016年 6月22日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

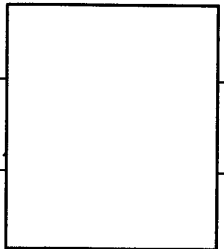
部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
収納缶	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2016年 6月22日	良	作業担当者	2
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者等代行

6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2016 年 6 月 30 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)


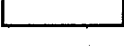
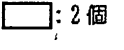
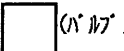
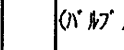
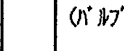
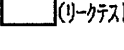
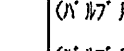
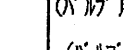
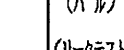
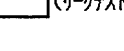
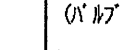
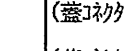
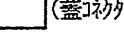
部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2016年 6月17日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同上	2016年 6月23日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者第1代行

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
【本体蓋】 Oリング  (本体蓋) : 1個 Oリング  (本体蓋) : 1個 Oリング  : 2個	取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。	2016年 6月23日*2, 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ベント弁】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブカバー用) : 1個 Oリング  (リークテスト用) : 1個	同 上	2016年 6月24日*3, 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ドレン弁】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブカバー用) : 1個 Oリング  (リークテスト用) : 1個	同 上	2016年 6月24日*3, 6月28日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【収納缶】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (蓋コネクタ用) : 2個 Oリング  (蓋コネクタ用) : 2個	同 上	2016年 6月22日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者 第1代行

\*3 // 第2代行

作成 2017 年 10 月 31 日

2017 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号:S2B120(燃料バスケット))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基(承認容器登録番号:S2B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2017年6月21日～6月29日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室氏名  確認日: 2017年10月31日検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室氏名  確認日: 2017年10月31日

判定

合格

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長氏名  確認日: 2017年10月31日部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部氏名  確認日: 2017年10月31日社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室氏名  確認日: 2017年10月31日検査要領及び  
検査結果

記録様式 2 (3/12) 及び記録様式 2 (4/12) ~ (12/12) のとおり

## 定期検査要領

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び燃料バスケットの外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が $\square$ MPa $\cdot$ cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	燃料バスケットを目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング取替点検	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。



1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2017 年 6 月 29 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
トラニオン	同 上	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2017 年 6 月 21 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6月22日, 6月29日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2017 年 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (1/2)

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
蓋Oリング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えないうこと。	2017 年 6 月 27 日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 5px auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/2)

承認容器登録番号		S 2 B 1 2 0		
検査年月日	2017 年 6 月 27 日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

機器種類	検査部位		製造番号等	校正年月日 (有効期限 1 年)		備考
	真空センサー 及び表示計	ベント部 (P1)		センサー	28480	
表示計			11380G	2017 年 5 月 17 日		
ドレン部 (P2)		センサー	25622	2017 年 5 月 18 日		
		表示計	11381G	2017 年 5 月 18 日		
蓋部 (P3)		センサー	23264	2017 年 5 月 18 日		
		表示計	11382G	2017 年 5 月 18 日		
温度センサー 及び表示計	ベント部 (T1)	センサー	124541	2017 年 5 月 30 日		
		表示計	N01	2017 年 5 月 30 日		
	ドレン部 (T2)	センサー	124542	2017 年 5 月 30 日		
		表示計	N02	2017 年 5 月 30 日		
	蓋部 (T3)	センサー	124543	2017 年 5 月 30 日		
		表示計	N03	2017 年 5 月 30 日		
ストップウォッチ			C1579C	2017 年 5 月 16 日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
		ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 26 °C T2 = 26 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋 "O" リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 26 °C T2 = 26 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
総漏えい量: Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準: [ ] MPa・cm³/s ]				Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	計算式
	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$ <p>                     L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (° K)                      V : 検査部容積 (cc)              T2 : 試験終了時の温度 (° K)                      H : 測定時間 (h)                  P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)                      Ts : 基準温度 (293 ° K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)                 </p>

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与え るき裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日、 6 月 29 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2017 年 6 月 21 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

5. 未 臨 界 検 査 記 録

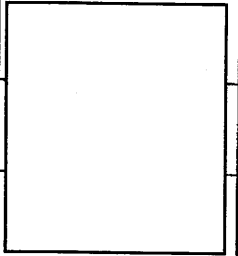
承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
燃料バスケット	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2017 年 6 月 21 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2017年 6月22日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

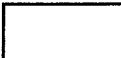

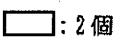








部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。



8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
<p>【本体蓋】</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  : 2個</p>	<p>取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ベント弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブカバー用) : 1個</p> <p>Oリング  (リキテスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ドレン弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブカバー用) : 1個</p> <p>Oリング  (リキテスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

作成 2017 年 10 月 31 日

2017 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号：S1B120 (収納缶))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

記録様式 3 (2/13)

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基 (承認容器登録番号: S1B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2017年6月22日～6月29日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室氏名  確認日: 2017年10月31日検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室氏名  確認日: 2017年10月31日

判定

合格

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長氏名  確認日: 2017年10月31日部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部氏名  確認日: 2017年10月31日社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室氏名  確認日: 2017年10月31日検査要領及び  
検査結果 記録様式 3 (3/13) 及び記録様式 3 (4/13) ~ (13/13) のとおり

## 定期検査要領

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び収納缶の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶又は燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
		収納缶は加圧漏えい法により検査する。	発泡のないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	収納缶を目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング 取替検査	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：SIB120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者		
				作 業 担 当 者	作 業 責 任 者	検 査 担 当 者
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2017 年 6 月 29 日	良			
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日	良			
トラニオン	同 上	2017 年 6 月 22 日	良			
収納缶	同 上	2017 年 6 月 23 日	良			

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者		
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日, 6 月 29 日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		
収納缶	同 上	2017 年 6 月 23 日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (1/3)

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋リング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えないうこと。	2017 年 6 月 27 日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/3)

承認容器登録番号		S1B120		
検査年月日	2017 年 6 月 27 日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

使用計量器	機器種類	検査部位	製造番号等	校正年月日 (有効期限 1 年)	備考	
	真空センサー 及び表示計	ベント部 (P1)	センサー	28480		2017 年 5 月 17 日
表示計			11380G	2017 年 5 月 17 日		
ドレン部 (P2)		センサー	25622	2017 年 5 月 18 日		
		表示計	11381G	2017 年 5 月 18 日		
蓋部 (P3)		センサー	23264	2017 年 5 月 18 日		
		表示計	11382G	2017 年 5 月 18 日		
温度センサー 及び表示計		ベント部 (T1)	センサー	124541	2017 年 5 月 30 日	
			表示計	N01	2017 年 5 月 30 日	
		ドレン部 (T2)	センサー	124542	2017 年 5 月 30 日	
			表示計	N02	2017 年 5 月 30 日	
蓋部 (T3)	センサー	124543	2017 年 5 月 30 日			
	表示計	N03	2017 年 5 月 30 日			
ストップウォッチ			C1579C	2017 年 5 月 16 日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
	ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L1 = [ ] MPa・cm³/s
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 26 °C T2 = 26 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋 "O" リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] (終了時) P2 = [ ] 測定時間 5 分	T1 = 26 °C T2 = 26 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa・cm³/s ]			Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	計算式	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$
	<p>L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (° K)</p> <p>V : 検査部容積 (cc)            T2 : 試験終了時の温度 (° K)</p> <p>H : 測定時間 (h)                P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)</p> <p>Ts : 基準温度 (293 ° K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)</p>	



3. 気密漏えい検査記録 (3/3)

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
収納缶	<input type="checkbox"/> MPa・G 以上に 加圧し、収納缶よ り発泡のないこ と。	2017 年 6 月 23 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

使用計量器	機器種類	製造番号等	校正年月日 (有効期限 1 年)	備考 詳細は記録 様式 1 参照
	圧力センサー	6899914	2017 年 5 月 22 日	
	表示計	2KY3496	2017 年 5 月 22 日	
	ストップウォッチ	C1579C	2017 年 5 月 16 日	
検査条件	試験圧力	( <input type="checkbox"/> Pa・G 以上) 実績: <input type="checkbox"/> MPa・G		
	保持時間	(30 分) 実績: 30 分		

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
				作業担当者	作業責任者
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日 6 月 29 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2017 年 6 月 23 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
収納缶	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2017 年 6 月 23 日	良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

## 6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

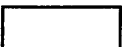

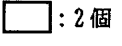











承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同上	2017 年 6 月 22 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者	
<p>【本体蓋】</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  : 2個</p>	<p>取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	作業担当者	
<p>【バント弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブガ-用) : 1個</p> <p>Oリング  (リ-ケスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	作業担当者	
<p>【ドレン弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブガ-用) : 1個</p> <p>Oリング  (リ-ケスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2017年 6月23日, 6月26日</p>	<p>良</p>	作業担当者	
<p>【収納缶】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (蓋コネクター用) : 2個</p> <p>Oリング  (蓋コネクター用) : 2個</p>	<p>同 上</p>	<p>2017年 6月22日</p>	<p>良</p>	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

作成 2018年7月10日

2018 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号:S2B120(燃料バスケット))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

記録様式 2 (2/12)

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基(承認容器登録番号:S2B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2018年6月18日～6月28日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室氏名  確認日: 2018年7月6日検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室氏名  確認日: 2018年7月6日

判定

合格作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長氏名  確認日: 2018年7月6日部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部氏名  確認日: 2018年7月6日社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室氏名  確認日: 2018年7月9日検査要領及び  
検査結果 記録様式 2 (3/12) 及び記録様式 2 (4/12) ~ (12/12) のとおり



## 定期検査要領

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び燃料バスケットの外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	燃料バスケットを目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング取替点検	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者		
				作 業 担 当 者	作 業 責 任 者	検 査 担 当 者
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2018年 6月19日*2 6月25日	良			
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日	良			
トラニオン	同 上	2018年 6月19日	良			
燃料バスケット	同 上	2018年 6月18日	良			

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日*2 6月20日*2 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2018年 6月18日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

3. 気密漏えい検査記録 (1/2)

承認容器登録番号: S 2 B 1 2 0. (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋Oリング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えなないこと。	2018年 6月27日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/2)

承認容器登録番号		S 2 B 1 2 0		
検査年月日	2018年6月27日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

使用計量器	機器種類	検査部位	製造番号等		校正年月日 (有効期限1年)	備考	
	真空センサー 及び表示計	ベント部 (P1)	センサー	28480			2018年5月15日
表示計			11380G		2018年5月15日		
ドレン部 (P2)		センサー	25622		2018年5月16日		
		表示計	11381G		2018年5月16日		
蓋部 (P3)		センサー	23264		2018年5月15日		
		表示計	11382G		2018年5月15日		
温度センサー 及び表示計		ベント部 (T1)	センサー	132928		2018年6月6日	
			表示計	N01		2018年6月6日	
		ドレン部 (T2)	センサー	132929		2018年6月6日	
			表示計	N02		2018年6月6日	
		蓋部 (T3)	センサー	132930		2018年6月6日	
			表示計	N03		2018年6月6日	
ストップウォッチ			C1579C		2018年5月8日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
	ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 25 °C T2 = 25 °C	L1 = [ ] MPa・cm³/s
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 29 °C T2 = 29 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋 "O" リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 29 °C T2 = 29 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa・cm³/s ]			Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$	
L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)	T1 : 試験開始時の温度 (°K)	
V : 検査部容積 (cc)	T2 : 試験終了時の温度 (°K)	
H : 測定時間 (h)	P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)	
Ts : 基準温度 (293 °K)	P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)	

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日*2 6月20日*2 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2018年 6月18日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

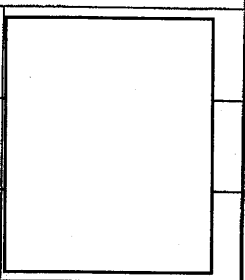
部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
燃料バスケット	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2018年 6月18日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2018 年 6 月 28 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。



7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者	
【本体蓋】 Oリング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> : 2個	取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。	2018年 6月21日*2 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
【ベント弁】 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (リークテスト用) : 1個	同 上	2018年 6月22日, 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
【ドレン弁】 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個 Oリング <input type="checkbox"/> (リークテスト用) : 1個	同 上	2018年 6月22日, 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

作成 2018 年 7 月 10 日

2018 年度  
MSF-I 型輸送容器の定期自主検査  
検査記録  
(承認容器登録番号：S1B120 (収納缶))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

空容器定期自主検査

検査対象輸送物 MSF-I型輸送物 1基 (承認容器登録番号: S1B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2018年6月19日～6月28日

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室氏名  確認日: 2018年7月6日検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
安全管理室氏名  確認日: 2018年7月6日

判定

合格

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部 ホット試験室長氏名  確認日: 2018年7月6日部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
試験部氏名  確認日: 2018年7月6日社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社  
技術開発推進室氏名  確認日: 2018年7月9日検査要領及び  
検査結果 記録様式 3 (3/13) 及び記録様式 3 (4/13) ~ (13/13) のとおり

## 定期検査要領

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び収納缶の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶又は燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が $\square$ MPa $\cdot$ cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
		収納缶は加圧漏えい法により検査する。	発泡のないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	収納缶を目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング 取替検査	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120(収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者		
				作業担当者	作業責任者	検査担当者
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、バルブ開口部が完全に密封されていること。	2018年 6月19日*2 6月25日	良			
緩衝体	き裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日	良			
トラニオン	同 上	2018年 6月19日	良			
収納缶	同 上	2018年 6月20日	良			

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2018年 6月19日*2 6月20日*2 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2018年 6月20日 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

記録様式 3 (6/13)

## 3. 気密漏えい検査記録 (1/3)

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋〇リング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越 えないこと。	2018 年 6 月 27 日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 25px; margin: 5px auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。



3. 気密漏えい検査記録 (2/3)

承認容器登録番号		SIB120		
検査年月日	2018年6月27日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

使用計量器	機器種類	検査部位	製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考	
	真空センサー 及び表示計	バント部 (P1)	センサー	28480		2018年5月15日
表示計			11380G	2018年5月15日		
ドレン部 (P2)		センサー	25622	2018年5月16日		
		表示計	11381G	2018年5月16日		
蓋部 (P3)		センサー	23264	2018年5月15日		
		表示計	11382G	2018年5月15日		
温度センサー 及び表示計		バント部 (T1)	センサー	132928	2018年6月6日	
			表示計	N01	2018年6月6日	
		ドレン部 (T2)	センサー	132929	2018年6月6日	
			表示計	N02	2018年6月6日	
		蓋部 (T3)	センサー	132930	2018年6月6日	
			表示計	N03	2018年6月6日	
ストップウォッチ			C1579C	2018年5月8日		

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
	ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 25 °C T2 = 25 °C	L1 = [ ] MPa・cm³/s
	バント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 29 °C T2 = 29 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋“0”リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 29 °C T2 = 29 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa・cm³/s ]			Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	計算式	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$
	<p>L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (°K)</p> <p>V : 検査部容積 (cc)            T2 : 試験終了時の温度 (°K)</p> <p>H : 測定時間 (h)                P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)</p> <p>Ts : 基準温度 (293 °K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)</p>	

3. 気密漏えい検査記録 (3/3)

承認容器登録番号: S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
				作業担当者	作業責任者
収納缶	<input type="checkbox"/> MPa・G 以上に 加圧し、収納缶よ り発泡のないこ と。	2018年 6月21日	良		
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

使用計量器	機器種類	製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考
	圧力センサー	6899914	2018年6月4日	詳細は記録 様式1参照
	表示計	2KY3496	2018年6月4日	
	ストップウォッチ	C1579C	2018年5月8日	
検査条件	試験圧力	<input type="checkbox"/> Pa・G 以上) 実績: <input type="checkbox"/> MPa・G		
	保持時間	(30分) 実績: 30分		

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
				作業担当者	作業責任者
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日*2 6月20日*2 6月25日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2018年 6月20日 6月21日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

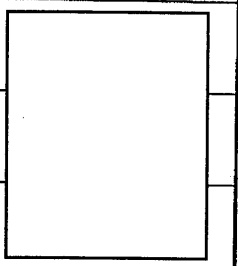
部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
収 納 缶	未 臨 界 性 能 に 影 響 を 与 える 傷、割 れ 及 び 形 状 の 異 常 が ない こと。	2018年 6月21日	良	作 業 担 当 者	
				作 業 責 任 者	
				検 査 担 当 者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与え るき裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2018 年 6 月 28 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

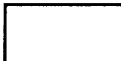
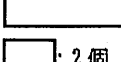
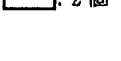











部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者		
				作業担当者	作業責任者	検査担当者
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2018年 6月19日	良			
収納缶	同上	2018年 6月20日	良			

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
<p>【本体蓋】</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  (本体蓋) : 1個</p> <p>Oリング  : 2個</p>	<p>取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。</p>	<p>2018年 6月21日*2 6月25日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ベント弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ加圧用) : 1個</p> <p>Oリング  (リキテスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2018年 6月22日, 6月25日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ドレン弁】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (バルブ加圧用) : 1個</p> <p>Oリング  (リキテスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2018年 6月22日, 6月25日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【収納缶】</p> <p>Oリング  (バルブ用) : 1個</p> <p>Oリング  (蓋コネクタ用) : 2個</p> <p>Oリング  (蓋コネクタ用) : 2個</p>	<p>同 上</p>	<p>2018年 6月20日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

\*2 作業責任者代行

添付4

作成 2019年 7月 30日

2019 年度  
MSF-I 型輸送容器の年次自主点検  
検査記録  
(承認容器登録番号:S2B120(燃料バスケット))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部



記録様式 2 (2/12)

**MSF-I 型輸送容器 年次自主点検 検査記録**

点検対象輸送物 MSF-I 型輸送物 1基 (承認容器登録番号: S2B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2019年6月18日～6月27日

検査記録と作業要領の照合確認、数値の整合性チェック

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

試験部 ホット試験室長

氏名  確認日: 2019年7月4日

検査記録の二次チェック、検査結果の判定

検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

安全管理室 計量管理グループ長

氏名  確認日: 2019年7月8日

判定

合格

作業の指導、監督、記録の承認

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

試験部長

氏名  確認日: 2019年7月11日

検査記録チェックシートの確認、点検作業の検査記録との照合、計量器の適正確認

部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

氏名  確認日: 2019年7月12日

検査記録の作成、必要な照合・確認の実施など、仕組みが適切の機能していることの確認

社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

氏名  確認日: 2019年7月19日

検査要領及び

検査結果

記録様式 2 (3/12) 及び記録様式 2 (4/12) ~ (12/12) のとおり

## 検査要領

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び燃料バスケットの内外面の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、ドレン、ベントバルブ開口部が完全に閉じられていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び燃料バスケットの内外面を目視で検査する。	輸送容器本体及び燃料バスケットの内外面に耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する。	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び燃料バスケットを目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	燃料バスケットを目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体を吊り上げた状態及び吊上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング取替点検	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変 形等がなく、蓋、バル ブ開口部が完全に密封 されていること。	2019 年 6 月 26 日, 6 月 27 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
緩衝体	き裂、異常な傷及び変 形等がないこと。	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
トラニオン	同 上	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与え るき裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2019 年 6 月 20 日、 6 月 26 日、 6 月 27 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
燃料バスケット	同 上	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (1/2)

承認容器登録番号: S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋Oリング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越え えないこと。	2019 年 6 月 25 日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s ・結果 良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/2)

承認容器登録番号		S 2 B 1 2 0		
検査年月日	2019 年 6 月 25 日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

使用計量器	機器種類	検査部位		製造番号等	校正年月日 (有効期限 1 年)	備考
真空センサー 及び表示計	ベント部 (P1)	センサー	28480	2019 年 5 月 9 日	詳細は記録 様式 1 参照	
		表示計	11380G	2019 年 5 月 9 日		
	ドレン部 (P2)	センサー	25622	2019 年 5 月 16 日		
		表示計	11381G	2019 年 5 月 16 日		
	蓋部 (P3)	センサー	23264	2019 年 5 月 9 日		
		表示計	11382G	2019 年 5 月 9 日		
	温度センサー 及び表示計	ベント部 (T1)	センサー	139777		2019 年 5 月 31 日
			表示計	N01		2019 年 5 月 31 日
		ドレン部 (T2)	センサー	139778		2019 年 5 月 31 日
			表示計	N02		2019 年 5 月 31 日
蓋部 (T3)		センサー	139779	2019 年 5 月 31 日		
		表示計	N03	2019 年 5 月 31 日		
ストップウォッチ		C1579C	2019 年 4 月 23 日			

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
		ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5 分	T1 = 23 °C T2 = 23 °C
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5 分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋 "O" リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5 分	T1 = 25 °C T2 = 25 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa・cm³/s ]			Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	計算式
	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$ <p>L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (° K)  V : 検査部容積 (cc)              T2 : 試験終了時の温度 (° K)  H : 測定時間 (h)                  P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)  Ts : 基準温度 (293 ° K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)</p>

4. 遮 蔽 検 査 記 録

承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者		
				作 業 担 当 者	作 業 責 任 者	検 査 担 当 者
輸 送 容 器 本 体	遮 蔽 性 能 に 影 響 を 与 え る き 裂、異 常 な 傷 及 び 変 形 等 が な い こ と。	2019 年 6 月 20 日、 6 月 26 日、 6 月 27 日	良	作 業 担 当 者		
				作 業 責 任 者		
				検 査 担 当 者		
燃 料 バ ス ケ ッ ト	同 上	2019 年 6 月 18 日	良	作 業 担 当 者		
				作 業 責 任 者		
				検 査 担 当 者		

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

## 5. 未 臨 界 検 査 記 録

承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
				作 業 担 当 者	
燃料バスケット	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2019 年 6 月 / 8 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。



## 6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S 2 B 1 2 0 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
				作 業 担 当 者	作 業 責 任 者
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2019年 6月27日	良		
				検 査 担 当 者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
				作業担当者	作業責任者
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2019 年 6 月 18 日	良		
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S2B120 (燃料バスケット)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
<p>【本体蓋】</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (本体蓋) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> : (リクエスト用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> : (閉止栓用) : 2個</p>	<p>取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。</p>	<p>2019年 6月20日、 6月21日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ベント弁】</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (リクエスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2019年 6月21日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>
<p>【ドレン弁】</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブ用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (バルブカバー用) : 1個</p> <p>○リング <input type="checkbox"/> (リクエスト用) : 1個</p>	<p>同 上</p>	<p>2019年 6月21日</p>	<p>良</p>	<p>作業担当者</p> <p>作業責任者</p> <p>検査担当者</p>

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

作成 2019 年 7 月 30 日

2019 年度  
MSF-I 型輸送容器の年次自主点検  
検査記録  
(承認容器登録番号 : S1B120 (収納缶))

## 【検査項目】

- ・外観検査
- ・耐圧検査
- ・気密漏えい検査
- ・遮蔽検査
- ・未臨界検査
- ・熱検査
- ・吊上検査
- ・Oリング取替点検

ニュークリア・デベロップメント (株)

試験部

記録様式 3 (2/13)

MSF-I 型輸送容器 年次自主点検 検査

検査対象輸送物 MSF-I 型輸送物 1 基 (承認容器登録番号: S1B120)

検査場所 ニュークリア・デベロップメント株式会社

検査年月日 2019 年 6 月 18 日 ~ 6 月 27 日

検査記録と作業要領の照合確認、数値の整合性チェック

作業責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

試験部 ホット試験室長

氏名

確認日: 2019 年 7 月 5 日

検査記録の二次チェック、検査結果の判定

検査責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

安全管理室 計量管理グループ長

氏名

確認日: 2019 年 7 月 8 日

判定

合格

作業の指導、監督、記録の承認

作業取纏責任者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

試験部長

氏名

確認日: 2019 年 7 月 11 日

検査記録チェックシートの確認、点検作業の検査記録との照合、計量器の適正確認

部工事品質保証推進担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

氏名

確認日: 2019 年 7 月 12 日

検査記録の作成、必要な照合・確認の実施など、仕組みが適切な機能していることの確認

社工事品質保証担当者 ニュークリア・デベロップメント株式会社

氏名

確認日: 2019 年 7 月 19 日

検査要領及び  
検査結果 記録様式 3 (3/13) 及び記録様式 3 (4/13) ~ (13/13) のとおり

## 検査要領

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

No.	検査項目	検査方法	合格基準
1	外観検査	輸送容器本体及び収納缶の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶又は燃料バスケットにき裂、異常な傷及び変形等がなく、蓋、ドレン、ベントバルブ開口部が完全に密封されていること。
2	耐圧検査	輸送容器本体及び収納缶の内外面を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶の内外面に耐圧性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
3	気密漏えい検査	輸送容器本体は真空漏えい法により、漏えい率を測定検査する	輸送容器本体は、漏えい率の合計が <input type="text"/> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越えないこと。
		収納缶は加圧漏えい法により検査する。	<input type="text"/> MPa・G 以上に加圧し、収納缶より発泡 (30分保持) のないこと。
4	遮蔽検査	輸送容器本体及び収納缶を目視で検査する。	遮蔽性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
5	未臨界検査	収納缶を目視で検査する。	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。
6	熱検査	輸送容器外周に取付けた放熱フィンを目視で検査する。	伝熱性能に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
7	吊上検査	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後において吊り上げ部の外観を目視で検査する。	輸送容器本体及び収納缶を吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。
8	Oリング 取替検査	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後に目視で検査する。	取替用Oリングの取り付け前・取り付け後、密封性に影響を与えるき裂、異常な傷及び変形等がないこと。

1. 外 観 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
輸送容器本体	き裂、異常な傷及び変 形等がなく、蓋、バル ブ開口部が完全に密封 されていること。	2019 年 6 月 26 日, 6 月 27 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
緩衝体	き裂、異常な傷及び変 形等がないこと。	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
トラニオン	同 上	2019 年 6 月 18 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2019 年 6 月 19 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

2. 耐 圧 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者		
輸送容器本体	耐圧性能に影響を与え るき裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2019年 6月20日, 6月26日, 6月27日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		
収納缶	同 上	2019年 6月19日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		

\*1 結果は、良/否を記載のこと。



3. 気密漏えい検査記録 (1/3)

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
蓋Oリング ベント弁 ドレン弁	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s を越え えないこと。	2019 年 6 月25日	・総漏えい量 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> MPa・cm <sup>3</sup> /s  ・結果 良	作業担当者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、総漏えい量及び良/否を記載のこと。

3. 気密漏えい検査記録 (2/3)

承認容器登録番号		S1B120		
検査年月日	2019年6月25日	確認者	作業担当者	
			作業責任者	
			検査担当者	

機器種類	検査部位		製造番号等		校正年月日 (有効期限1年)	備考
	真空センサー 及び表示計	ベント部 (P1)	センサー	28480		
表示計			11380G		2019年5月9日	
ドレン部 (P2)		センサー	25622		2019年5月16日	
		表示計	11381G		2019年5月16日	
蓋部 (P3)		センサー	23264		2019年5月9日	
		表示計	11382G		2019年5月9日	
温度センサー 及び表示計	ベント部 (T1)	センサー	139777		2019年5月31日	
		表示計	N01		2019年5月31日	
	ドレン部 (T2)	センサー	139778		2019年5月31日	
		表示計	N02		2019年5月31日	
	蓋部 (T3)	センサー	139779		2019年5月31日	
		表示計	N03		2019年5月31日	
ストップウォッチ			C1579C		2019年4月23日	

検査結果	検査部位	圧力測定結果	温度	漏えい量
		ドレン弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 23 °C T2 = 23 °C
	ベント弁部の密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 24 °C T2 = 24 °C	L2 = [ ] MPa・cm³/s
	蓋 "O" リング部の 密封部 [ ]	(開始時) P1 = [ ] Pa (終了時) P2 = [ ] Pa 測定時間 5分	T1 = 25 °C T2 = 25 °C	L3 = [ ] MPa・cm³/s
	総漏えい量 : Lc = L1 + L2 + L3 [ 判定基準 : [ ] MPa・cm³/s ]			Lc = [ ] MPa・cm³/s

計算式	計算式	$L = \frac{V \cdot T_s}{3600 \cdot H} \times \left( \frac{P_2}{T_2} - \frac{P_1}{T_1} \right) \times 10^{-6}$
	<p>L : 漏洩率 (MPa・cm³/s)      T1 : 試験開始時の温度 (°K)</p> <p>V : 検査部容積 (cc)            T2 : 試験終了時の温度 (°K)</p> <p>H : 測定時間 (h)                P1 : 試験開始時の圧力 (Pa)</p> <p>Ts : 基準温度 (293 °K)        P2 : 試験終了時の圧力 (Pa)</p>	

3. 気密漏えい検査記録(3/3)

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果*1	確 認 者	
収納缶	<input type="checkbox"/> MPa・G 以上に 加圧し、収納缶よ り発泡のないこ と。	2019 年 6 月20 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

使用計量器	機器種類	製造番号等	校正年月日 (有効期限1年)	備考 詳細は記録 様式1参照
	圧力センサー	6899914	2019年 5月 17日	
	表示計	2KY3496	2019年 5月 17日	
	ストップウォッチ	C1579C	2019年 4月 23日	
検査条件	試験圧力	( <input type="checkbox"/> MPa・G 以上) 実績: <input type="checkbox"/> MPa・G		
	保持時間	(30分) 実績: 30分		

4. 遮蔽検査記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者	
輸送容器本体	遮蔽性能に影響を与え るき裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2019年 6月20日、 6月26日、 6月27日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	
収納缶	同 上	2019年 6月19日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

## 5. 未 臨 界 検 査 記 録

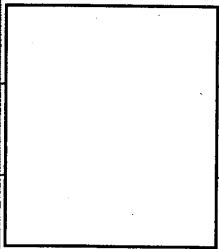
承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
収納缶	未臨界性能に影響を与える傷、割れ及び形状の異常がないこと。	2019年 6月19日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

6. 熱 検 査 記 録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検 査 年 月 日	結 果 *1	確 認 者	
輸送容器外周 放熱フィン	伝熱性能に影響を与える き裂、異常な傷及び 変形等がないこと。	2019 年 6 月 27 日	良	作業担当者	
				作業責任者	
				検査担当者	

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

7. 吊上検査記録


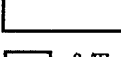
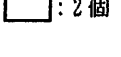











承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部 位	合 格 基 準	検査年月日	結果*1	確認者		
				作業担当者	作業責任者	検査担当者
輸送容器本体	吊り上げた状態及び吊り上げ後、吊り上げ部にき裂、異常な傷及び変形等がないこと。	2019年 6月18日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		
収納缶	同上	2019年 6月20日	良	作業担当者		
				作業責任者		
				検査担当者		

\*1 結果は、良/否を記載のこと。

8. Oリング取替点検記録

承認容器登録番号：S1B120 (収納缶)

部位	合格基準	検査年月日	結果*1	確認者
【本体蓋】 Oリング  (本体蓋) : 1個 Oリング  (本体蓋) : 1個 Oリング  : 2個	取替用Oリングの 取り付け前・取り付 け後、密封性に影響 を与えるき裂、異常 な傷及び変形等が ないこと。	2019年 6月20日、 6月21日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ベント弁】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブカバー用) : 1個 Oリング  (リークテスト用) : 1個	同 上	2019年 6月21日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【ドレン弁】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (バルブカバー用) : 1個 Oリング  (リークテスト用) : 1個	同 上	2019年 6月21日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者
【収納缶】 Oリング  (バルブ用) : 1個 Oリング  (蓋コネクタラック用) : 2個 Oリング  (蓋コネクタラック用) : 2個	同 上	2019年 6月19日	良	作業担当者 作業責任者 検査担当者

\*1 結果は、良/否を記載のこと。